

静 修

◇学校だより
平成29年 【6月号】
光市立上島田小学校



～児童92人が輝いた運動会～

5月27日(土)に平成29年度春季大運動会が開催されました。絶好の運動会日和に恵まれ「赤と白 みんなで目指せ優勝を」のスローガンのもと児童たちは一生懸命に演技しました。ゴールデンウィーク明けから毎日練習を積み重ね、当日はその成果を十分に発揮した内容となりました。人は、一生懸命に頑張っている姿が一番輝いて見えます。練習から当日を含め子どもたちの姿は常に輝いていました。保護者の皆様、地域の皆様、子どもたちの一生懸命な姿に温かい声援と惜しみのない拍手をありがとうございました。この声援や拍手、及び今回の運動会の経験が、子どもたちの自信となって、今後の学校生活や行事等に生かされるよう努めていきたいと思えます。



～環境整備に感謝～

運動会目の5月21日(日)に環境整備を行いました。急な呼びかけにもかかわらず、地域の方、保護者の方、児童等60～70人に参加していただき、草刈り、体育館裏の溝あげ、切った木の搬出、グラウンドの草取り等を行っていただきました。約1時間30分の作業でしたが、予想以上にきれいになり環境の面だけでなく気持ちの面でもすっきりし、運動会当日にお客様を快くお迎えできました。ありがとうございました。



～平成29年度コミュニティ・スクール(CS)～

平成29年度 上島田小学校 学校運営協議会委員

(会長)：福田 隆登	(副会長)：山口 昇	
(委員)：山本 義人	尾崎 佳正	石川 友士 (PTA代表)
田中 道子	高橋 佳嗣	柳澤 英純 (CS地域コーディネーター)
福田 公一	藤山 厚子	小幡 治生 (校長)
石川 光義	叶屋 良太 (島中)	
※敬称略	新任	

Q1 コミュニティ・スクール(CS)とは？

A：地域の声を受け取る仕組み(学校運営協議会)をもつ学校のことです。

Q2 コミュニティ・スクール(CS)のねらいは？

A：学校と地域が願いや思いを共有して、地域の大切な子どもたちを連携・協働して育てようとするものです。

Q3 どんなことをするの？

A：(1) 学校支援



- 地域人材による授業支援、学校環境整備、登下校の見守りなど
- (2) 学校運営
教育活動の情報発信、地域の意見やニーズを反映した学校づくり
- (3) 地域貢献
地域住民の教育活動を通じた交流、地域行事への積極的な参加

～6月・7月の行事～

【6月の行事予定】

【7月の行事予定】

日	曜	行 事	日	曜	行 事
1	木	プール清掃	3	月	集金
2	金	まちたんけん（2年生）	10	月	地区児童会
5	月	集金 まちたんけん（1年生）	13	木	あいさつ運動 学校保健委員会 PTA役員会 救急法講習会（PTA対象）
7	水	CS推進部全体会			
8	木	あいさつ運動 おおぞら宿泊学習（～9日）	14	金	交通指導
12	月	田植え（5年生）	19	水	読み聞かせ
14	水	交通指導	20	木	全校集会
15	木	音楽・演劇鑑賞（5・6年生）	21	金	夏期休業～8/31 水泳教室
17	土	すこやか参観日			
19	月	振替休日	24	月	水泳教室 個人懇談会
21	水	読み聞かせ			
22	木	あいさつ運動	25	火	水泳教室 個人懇談会
23	金	プール開き			
24	土	5校親睦球技大会	26	水	水泳記録会
26	月	児童朝会	/		
28	水	ユニット型研修			
29	木	宿泊学習（5年生 ～30日）			

ある日の記事から

～「親子のふれあい」を最優先 スマホ依存の子育てに危うさ～ ①

乳幼児など未就学児の子どもがスマホの動画に熱中している時間に、家事などを行うことを「スマホ育児」と呼んでいます。未就学児を抱える親の半数が「スマホ育児」をしています。

スマホを使わせている主な理由としては、「子どもの機嫌が良くなるから」、「親の手を離れる時間ができるから」と親の都合を優先した理由が上位を占めています。子どもがスマホに夢中になってくれば、その間に親は自分の用事を済ますことができるし、スマホが子守をしてくれる分、手がかからないので便利ということです。しかし、親に子どもと触れ合う時間や心のゆとりがあるにもかかわらず、機嫌が悪くなったからといってすぐにスマホを与えたり、長時間与えたりすることは良くありません。親が安易に子育てをスマホに依存すると、スマホがなければ落ち着かない子どもになる恐れがあります。また、スマホを与える時間が長くなれば長くなるほど、それだけ親子の会話の時間が少なくなり、テレビの場合と同様に、会話能力の発達の遅れにつながります。（続きは次号で）

